

回覧

# 地域再生 協議会だより

百合が丘 2-29-6(老人憩いの家) 59-9356(火・金午前) [isshiki-saisei@grace.ocn.ne.jp](mailto:isshiki-saisei@grace.ocn.ne.jp)

## 閉幕に向け最後の力

### 音楽祭、お試し移住、ヤマユリ整備など

コロナ感染による混乱が続く中、協議会は3月末の活動終了に向けた最後の事業展開に注力している。2月12日(土)には予定通り「やまゆり里山音楽祭」(ラディアン)を開催し、国交省支援



のお試し移住も予定通り実施する。予算上の制約がきつくなる前に計画していた友情の山の生育環境整備も予定通り実施。また会員減によって活動継続が危ぶまれている地区内子ども会の新方向など、令和4年度に向けた新たなうごめきも始まっている。

協議会の事業は、仕上げ期間に当たるこの2年間はほぼ活動を停止したまま。コロナ感染の広がりによる会合・イベントの開催が困難になり、事業予算の返上を余儀なくされている。現在、終幕に向けて取り組んでいる主事業はやまゆり里山音楽祭の開催(音楽活動部会)、お試し移住の実施(空き家対策部会)、友情の山の生育環境整備(友情の山部会)の3つ。

このうち、音楽祭は二宮町がまん延防止へと移行する中でも、ラディアンなどの使用制限強化を見送ったことにより開催が可能になった。入場者確保などで無理することなく進むよう準備している。お試し移住は多くの人数が関わらないようにし、11、12月に続いて実施する。ただ、最終日の先輩移住者との懇談会は中止する。2月6日(日)にはシンポジウムを計画中。友情の山のヤマユリ、山野草の育成環境整備は今月中に、伝染病枝の除去と下草刈りを2段階に分けて実施する。

このほかの部会は、元気なコミュニティ協議会への引継ぎ、あるいは事業清算に向け作業中。そんな中で、一色小学校区内の子ども会の活動の在り方が新たな地域課題として浮上しており、協議会、自治会が関与する中で方途を見いだせないかについて議論が始まっている。

## コミュニティダイニング 無料開放

県住宅供給公社が商店街のコミュニティダイニングの無料で利用できるサービスを始めた。毎週木・金曜日、第4土・日曜日の9時～15時。2月27日(日)まで継続する。希望者、サークルなどは隣接の「湘南お菓子部ICI」で受付手続きを行う。同スペースは無料Wi-Fi、トイレを備えており、4名(各テーブル1名)が利用可能。ただ、マスク着用、食事の禁止、アンケート記入などの約束事がある。無料利用に期限を設けるのは、3月以降に新たな活用計画があるためとみられる。